

# 令和5年度 第1回 日の出町地域学校協働活動推進事業運営委員会の開催



6月27日（火）に、令和5年度 第1回 日の出町地域学校協働活動推進事業運営委員会が、日の出町教育センター2階多目的会議室で開催されました。

地域学校協働活動は、社会教育法に基づく、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

運営委員会には、各学校の地域コーディネーターと副校長が出席され、各学校の地域の方々や外部人材との協働による教育活動や学校の環境整備、地域をフィールドとした教育活動などが紹介されました。

また、今後の活動の展開や課題も話題となり、活発な意見交換が行われました。

地域学校協働活動は、子どもの成長を軸として、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、意見を出し合い学び合う中で、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る「学校を核とした地域づくり」を推進し、地域の創生につながっていくことが期待されます。

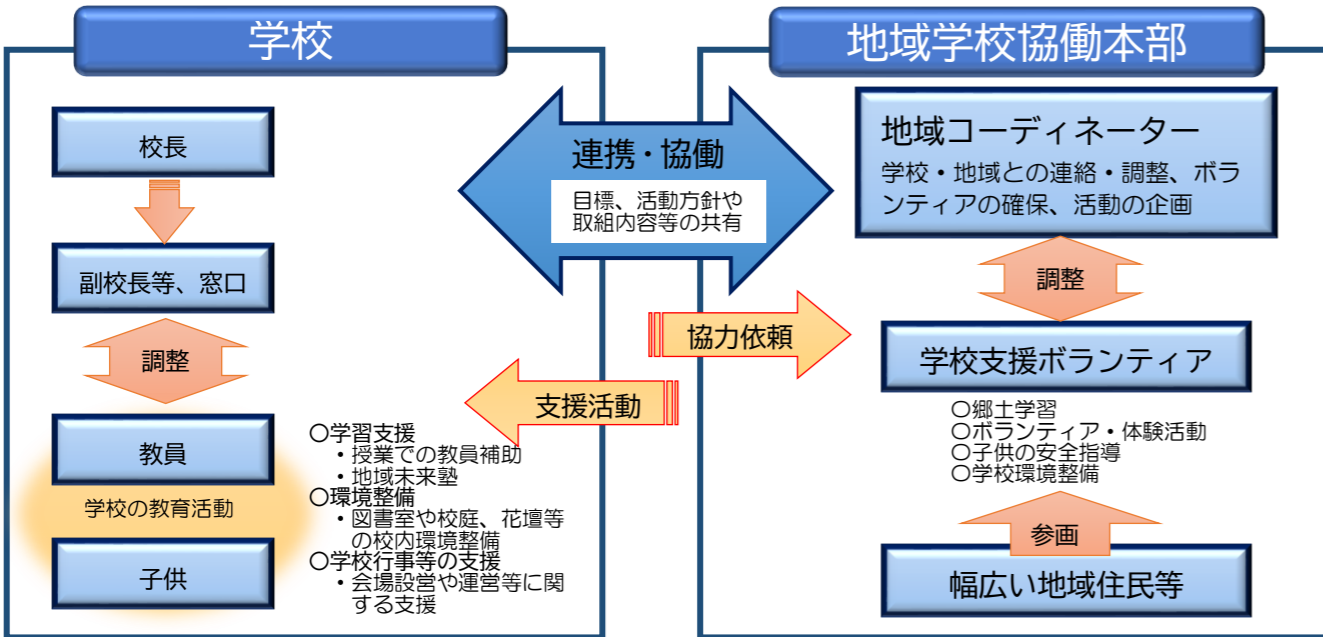
## 地域学校協働活動

### 幅広い地域住民等の参加を得るための仕組み

平成29年3月に社会教育法の改正により、「地域学校協働活動」が法律に位置付けられました。日の出町では、これまでに、幅広い地域住民等の参加を得ながら「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校支援ボランティアにより学校支援活動を契機として、現在の地域学校協働活動に至り、学校と地域が共に学び共に支え合いながら共に質の高い学校づくりを進め、学校ごとに多様な取組が行われてきています。

#### 緩やかなネットワークとしての「地域学校協働本部」

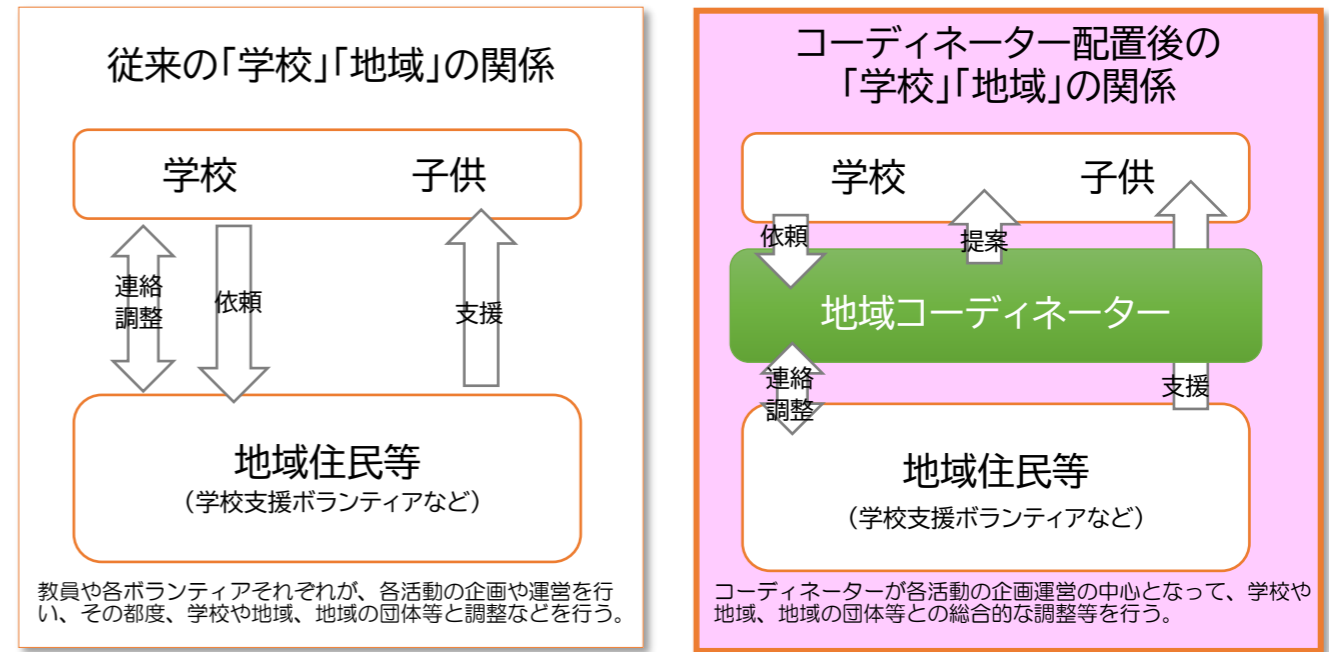
学校単位に設置され、地域の実情に応じて「〇〇学校支援本部」「〇〇学校応援団」など、様々に呼称されています。具体的には、地域コーディネーターを要とした機能や学校支援ボランティアの組織を指します。



## 地域コーディネーター 学校と地域の橋渡し役であり地域学校協働活動の要

### 「地域コーディネーター」が学校と地域の橋渡し役を担います

現在、学校を多くの地域住民等がボランティアとして訪れるようになりました。地域コーディネーターは、学校と地域の橋渡し役として、学校が必要とする地域人材を探し、効果的に導入する役割を担います。



## 統括コーディネーター 地域学校協働活動のさらなる推進役

### 統括コーディネーターの役割

- 〇地域コーディネーターへの地域住民等のネットワークづくりへの支援
- 〇地域社会資源の新たな掘り起こしと、学校における多様な教育活動の創出

